



今月の担当者



田中



小田

2014年(平成26年)1月25日発行
再処理企業協議会 広報部会
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駱字弥栄平1-5
再処理企業センターB棟
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488
URL <https://www.saisyori-kigyogyokikai.jp/>



再処理企業協議会

降雪の最盛期です。冬道の安全運転で交通事故防止に努めましょう！

餅つき大会

1月9日(木) 松村事業部長を始め、大内会長以下多数の方がつき手として参加され、大盛況で終わることができました。これは皆様の多大なるご協力によるものであり、深く感謝を申し上げます。また来年も開催できることを楽しみに…！



第4回勉強会「冬道の安全運転」

勉強会風景

11月6日(水) X15大会議室において、尾駱交番・若松宏一巡査部長による講話が開催されました。

六ヶ所村が、11月2日をもって交通死亡事故ゼロの継続日数1000日を達成したことを皮切りに、「冬道の安全運転」について、教育DVD「冬道の危険を知る」の映写や野辺地警察署発行の「雪道安全・安心マップ」による冬道走行での注意、昨年2月に国道279号線で発生した立ち往生での教訓からの冬期間における準備品(スコップ搭載、残燃料確認等)、管内危険マップでのピンポイントのご指摘等、地域に密着した内容を聴講することができ、大変有意義な勉強会でした。

冬道の特性を勘案した安全運転を励行し、地域の無事故を進めて参りましょう。



ポンプ必修訓練

訓練風景

11月21日(木) ジェイテック技術・訓練センターを会場とし、協議会会員企業である(株)ジェイテック久保勇馬氏、(株)青森クワイエイト上野栄寿氏2名を講師に招き、参加者9名でのポンプ必修訓練を実施しました。

訓練内容は、「圧力が残った配管のフランジ開放」「放射線防護装備を装着してのポンプ分解」等を体感し、今後のトラブル防止に役立てていただくための実技訓練でした。



受講者からは、「タイベック着用時の体感温度について、実際の現場作業の方の気持ちを少し理解できた」、「点検の進め方、分解手順を再確認でき、これからの分解作業に活かしてゆきたい」、「初めてのポンプ分解点検ということもあり、とても緊張しての作業になりました」等の感想があり、非常に活気のある有意義な訓練となりました。

ミニ工場紹介 化学処理施設部

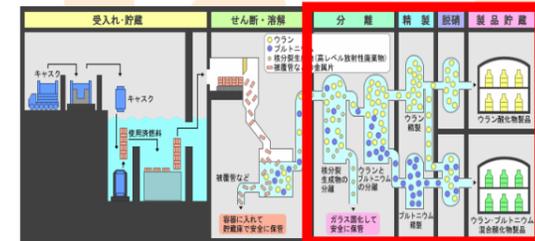
再処理企業協議会の皆様、化学処理施設部長の松田です。
再処理工場における化学処理施設部所掌施設は、前処理工程からの使用済燃料の硝酸溶解液を受入れ、製品としてのウラン、プルトニウムと核分裂生成物等を分離、次にウランとプルトニウムを分離して更に精製する、いわゆる溶媒抽出PUREXプロセス(Plutonium and Uranium Recovery by Extraction)の設備とウラン・プルトニウム混合脱硝(MOX)を行う再処理主工程を中心とした施設を担当しています。
(建屋はAB、AC、AD、CA、CB、BA、BB)



現在は、新規規制基準対応及び自主的な安全性向上のための改造工事、また、福島第一原子力発電所の事故の教訓から融通の効く可搬式設備の準備に注力しています。これらは従来の対策に加えての事故の発生防止であり、また、万一の事故時においてもその影響を最小限に留めることを目的に実施しています。原子力学会セミナーの中で「分からないことにどこまで取組んでいるかが問われる時代」という言葉がありました。安全に対する謙虚さが印象に残りました。

対策工事・準備、対応訓練においても企業協議会の方々のご協力を得て、一緒になって継続的に安全確保へ取り組み、地域の皆様に安心していただける再処理工場を完成させ成長させていきたいと思います。よろしくお願いたします。

今回は、ガラス固化施設部の濱田部長です。



1周年記念講演・懇親会

11月26日(火) 再処理企業協議会一周年記念講演会が開催されました。講演は、前防衛大臣の森本敏氏をお迎えし「エネルギーの安全保障」～世界から見た日本のエネルギー事情について～と題し、安倍政権が目指す方向性を皮切りに、政治経済の動向、エネルギー情勢や我が国を取り巻く国際情勢について講演いただきました。エネルギーに関しては、原発が停止しているため現在9割以上が化石燃料となっている。再生可能エネルギーは技術的な問題等から国が目標とする15%程度以上に増えることは無い。ベストミックスの将来はいくつかの課題に直面しており不透明な状態である。等についてお話されました。

時節柄、中国の防空識別圏に関する旬な内容もあり、興味深く拝聴するうちに講演時間は瞬間に過ぎてしまいました。

グローバルな視点に立った多様なお話しの中でも「現在の政治に求められているものは、エネルギーセキュリティ(安定供給)の視点に立った政治判断が望まれている！」と強く発信されていたことが印象深く残りました。

懇親会はろっかぼっかに場所を変え、大内会長から会員各社殿の自発的・相互の活動により無事1周年を迎えられたことに敬意を表されました。

松村再処理事業部長からは、竣工時期の延長は安全を基本から再認識する機会と捉え、「世界一安全な再処理工場の建設」に向け、会社を挙げて取り組むと決意表明されました。



講演風景



懇親会大内会長挨拶

編集後記

『新春！うそ八百ほら吹き大会』というイベントがあることを知っていますか？これは『一つのほらが地域の夢に…』をテーマに地域の夢や将来を語り、まちづくりを楽しくするヒントを探るために、おいらせ町まちづくり推進委員会が毎年開催しているもので、今年は、1月19日(日)に開催されました。町内外から強者が集合して、おいらせの未来を大ぼらで構想を描くなんて、夢があって面白そうですね。我こそはと思う大ぼら吹きの方は、来年参加して見てはいかがでしょうか？ ※詳しくはおいらせ町HPをご覧ください。